

でらぽ 草さん

若芽のようにフレッシュな気持ちで 輝かしい日本の未来を見据える新成人

今回のさんぽ友だち 渡辺 結さんと、東京 日本橋室町にある「福德神社」に成人奉告へ。まだリニューアルしたばかりのピカピカな神社に、すてきな振袖姿で訪れました。



ピカピカできれいな福德神社の社殿。

今月のさんぽ友だち

渡辺 結さん

出身地 東京都

血液型 A型

趣味 絵日記

きもの歴 デビュー

今月のさんぽコース

日本橋室町 福德神社

パツと目を惹く深緑色の振袖。赤が差し色になってキリッとした着姿の渡辺結さんは、今年二十歳を迎えました。お母さまがきもの関係の仕事についているそうで、この振袖はお母さまが選んだものの。結さんの凛とした雰囲気によく似合っています。今回は無事成人を迎えられることを報告しに、東京メトロ三越前駅から徒歩1分の「福德神社」に参拝しました。

福德神社は、貞観年間（859～876年）よりこの地に鎮座していました。

江戸幕府初代將軍徳川家康公もお詣りに訪れたこともある由緒ある神社です。

さらに、二代將軍の秀忠公は「福德とは誠にめでたい神号である」と賞賛し、くぬぎの皮付きの鳥居に春の若芽が生えていたのを見て、「芽吹神社」という別名をつけました。今は商業施設「YUITO」と「COREDO室町」の高層ビルの上に位置しています。このあたり室町地区の再開発に伴い、2014年10月に境内と社殿をリニューアルし、今年の9



シャープな印象の結さんですが、あどけない笑顔も見せてくれました。



「えーと、まずは左手を清めて……」参拝前には手水舎(てみずや)でお清めです。



手を合わせて真剣な表情でお詣りする結さん。



ヘアメイクはなんと美容師免許を持つお母さまが！和装にも洋装にも合いそうなヘアスタイルですね。

月には隣接地に「福徳の森」が誕生。桜や梅、紅葉、くぬぎなどが植えられて都会に佇む憩いの新名所として生まれ変わりました。結さんは、「こんなところに神社があるなんて！まさに東京のオアシスですね」と微笑んでいました。

お母さまの影響もあり、結さんも高校のころにはすでに一人できものを着ることができたそう。旅行でパリのヴェルサイユ宮殿とルーヴル美術館へ訪れたときには、お母さまはきもの、結さんはこの振袖を着て観光をしたそうですが、実は最初はしぶしぶだったと話します。

「母に頼まれて仕方なく着たんです。けれど、途中からだんだんと楽しくなってきたさんの人に撮影を頼まれて『ジャパニーズビューティフル』と褒めてもらいました。海外の方もきものに興味があるんですね！」と少し照れくさそうな結さん。きつと、現地や観光客の皆さんは、その着姿に感動したことでしょう。

「ロサンゼルスへ留学したときも、語学スクールにきものを着て行きました。それしたら、いろんな方から話しかけられるようになって、英語で話すのが恐くなくなっただけです。今はホテルマンの専門学校に通っているのですが、東京オリンピックで海外の観光客が増えることが楽しみです。海外でのきものはすごくいい経験になりました」と、結さんは福徳神社の若芽のようにフレッシュに、先を見据えて話してくださいました。